

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

もくじ

安全上のご注意 .....	P.1	■設置方法 .....	P.3
■施工上のご注意 .....	P.1	■配線形態 .....	P.3
■使用上のご注意 .....	P.1	■使用方法 .....	P.6
■各部の名称 .....	P.2	■光接続箱オプション .....	P.10
■仕様 .....	P.2		

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「注意」として区分してあります。



**注意**

回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、**注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

気をつけていただく内容です。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意

**注意**

	結束テープにより光ケーブルおよび光コードを固定する際、締付け過ぎに注意してください。伝送損失および光ファイバ断線の原因になります。		ドアの開閉方向の変更、光ケーブルおよび光コード入出線方向の変更などは、必ず壁面に取付ける前に行ってください。壁面取付後に作業しますと、部品や製品の落下などによりけがの原因になります。
	ドアの開閉による挟み込みや巻込みに十分注意してください。光ファイバ断線の原因になります。		使用するねじなどは、指定されたものを使用してください。取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。ねじの締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりへこみや歪みが発生し、強度低下の原因になります。		
	壁面に設置する際は、十分な強度のある壁面に確実に固定してください。強度が十分でない場合、キャビネットが落下し、破損やけがの原因になります。		

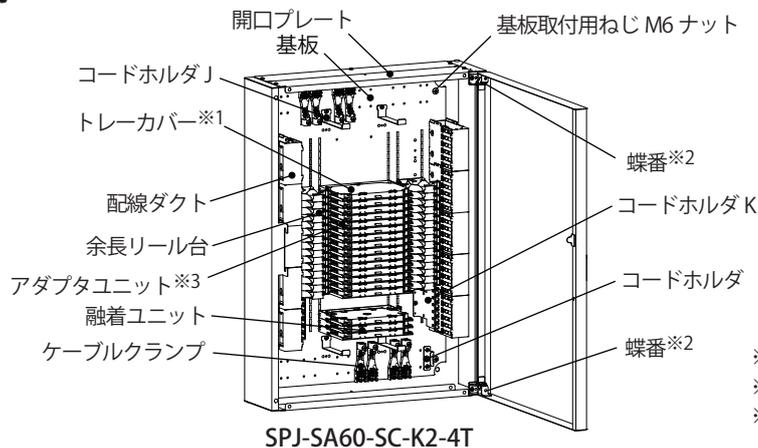
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M3	0.2 ~ 1.0
M4	1.5 ~ 2.0
M5	2.5 ~ 3.0
M6	1.5 ~ 2.0

■使用上のご注意

**注意**

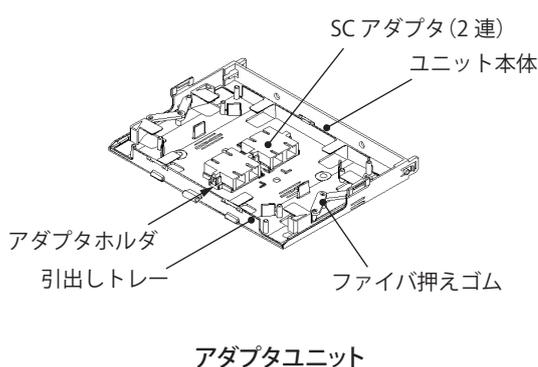
	融着トレーの開閉時に光ファイバの挟み込みや巻込みに十分注意してください。光ファイバの断線の原因になります。		次の場所では使用しないでください。故障の原因になります。 ・高温、高湿となる場所 ・振動、衝撃のある場所 ・有機溶剤のかかる場所 ・塵埃やオイルミストが多い場所 ・ノイズ、電界、磁界の強い場所 ・腐食性ガスのある場所 ・可燃性ガスのある場所 ・水滴のかかる場所
	本製品の上に物を載せたり、もたれ掛かったりしないでください。破損、落下やけがの原因になります。		
	引出しユニットを引出した状態で、引出しユニットの上に物を載せたりしないでください。破損、落下やけがの原因になります。		

## ■各部の名称

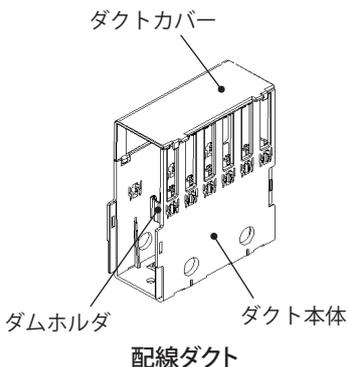


※1.LCアダプタの組替時はありません。  
 ※2.アースねじの取付けができます。  
 ※3.LCアダプタ組替時は、1段おきになります。

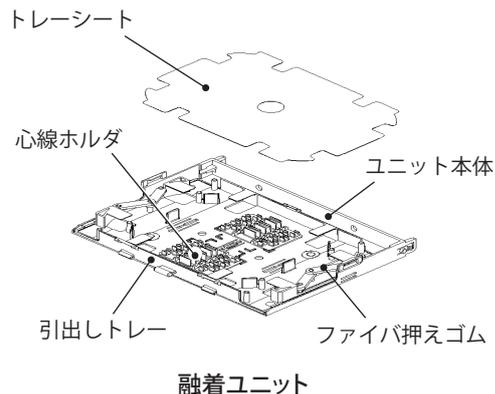
SPJ-SA60-SC-K2-4T



アダプタユニット



配線ダクト



融着ユニット

## ●付属品

品名記号	名称	保護チューブ (6色 150mm)	補強熱スリーブ テープ心用 (40mm)	回線表示 シール	アダプタ番号 シール	結束テープ (1.0m)	インシュ ロック	ケーブル パッキン	取扱説明書 (本紙)
SPJ-SA60-SC-K2-4T		1コ	18本	2枚	2枚	3コ	16コ	2枚	1部
SPJ-SA100-SC-K2-4T		〃	30本	3枚	〃	〃	〃	〃	〃

本製品には、上記以外に、キャビネット付属品が全機種共通で付属されています。

## ●キャビネット付属品

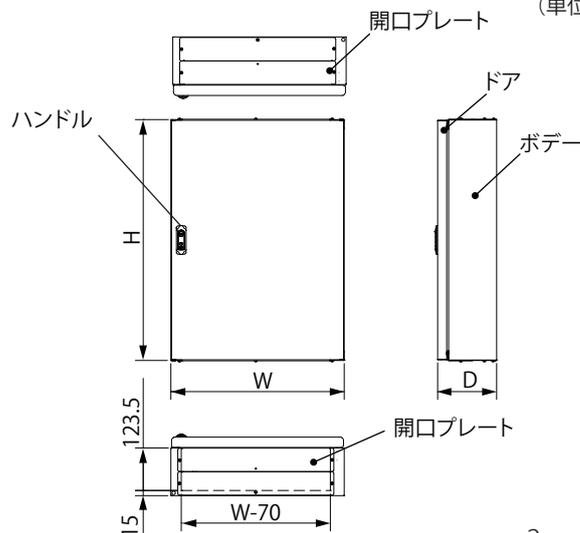
名称	数量
アースねじ M5×10	1コ
キー(N200番)	1コ
矢印ラベル	1枚

## ■仕様

品名記号	外形寸法 mm※			融着ユニット段数	アダプタユニット段数 (LCアダプタ組替時)	融着 + コネクタ 接続心数
	W	H	D			
SPJ-SA60-SC-K2-4T	500	700	170	3	15(8)	60
SPJ-SA100-SC-K2-4T	〃	800	〃	5	25(13)	100

※組替仕様 キャビネットの変更 -BKは、W・Hが+1mm、Dが+2mm大きくなります。

### 【寸法図】



## ■設置方法

### ⚠注意



壁面に設置する際は、十分な強度のある壁面に確実に固定してください。  
強度が十分でない場合、キャビネットが落下し、破損やけがの原因になります。

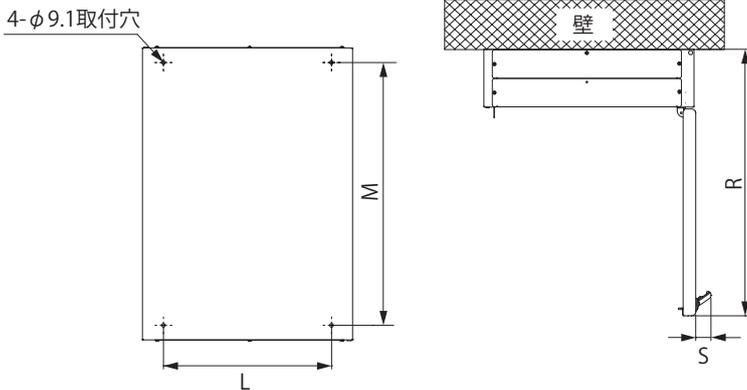
製品を設置する際は背面の取付穴を利用して、壁面に取付けてください。

#### ご注意

- ・壁際に設置する際は、ドア開閉スペース寸法以上離して取付けてください。
- ・キャビネットの変更(組替仕様-BOR)などにより、キャビネット背面に壁面取付穴を加工する際は、使用するキャビネットの推奨取付穴位置または、仕様書の取付穴位置に従って穴加工をしてください。

#### 【取付寸法図】

(単位：mm)



品名記号	取付穴ピッチ mm		扉開閉スペース mm	
	L	M	R	S
SPJ-SA60-SC-K2-4T	400	630	639	41
SPJ-SA100-SC-K2-4T	//	730	//	//

## ■配線形態

### ⚠注意



ドアの開閉方向の変更、光ケーブルおよび光コード入出線方向の変更などは、必ず壁面に取付ける前に行ってください。  
壁面取付後に作業しますと、部品や製品の落下などによりけがの原因になります。

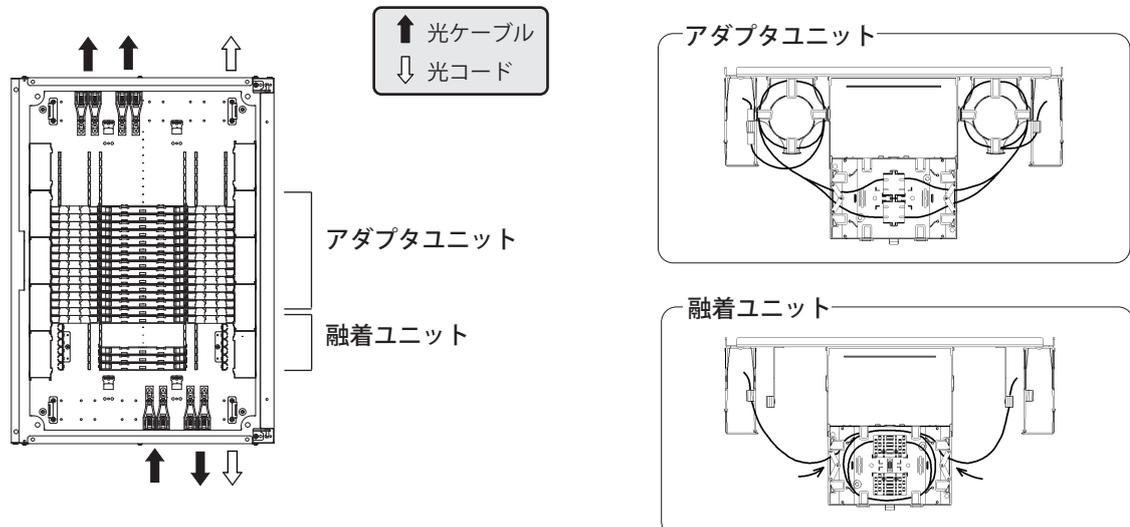
- ・ドア開閉方向や光ケーブルおよび光コードの入出線方向を変更することができます。  
(P.7「●ドア開閉方向の変更」、P.8「●入出線方向の変更」を参照)
- ・入出線方向側の開口プレートを取外し、付属のケーブルパッキンを貼付けてください。  
(P.8「●ケーブルパッキン(付属品)の貼付方法」を参照)
- ・配管を使用する場合には、開口プレートに穴加工をしてください。

#### ●入出線の適用範囲

○・・・標準仕様

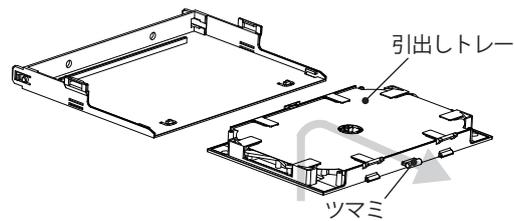
接続機種	光ケーブル⇔光コード	光ケーブル⇔光ケーブル	光コード⇔光コード
SPJ-SA	○	○	-

#### 配線例



## ●融着ユニット部

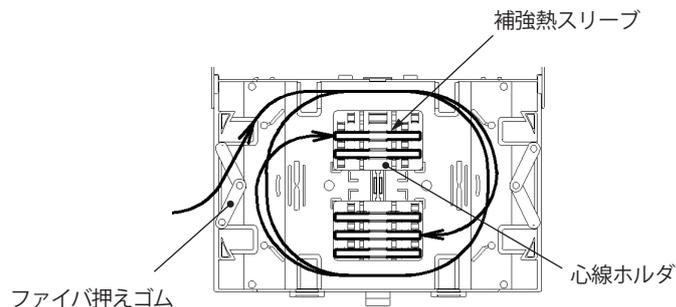
1. 融着ユニットの引出しトレイは、手前部のツマミを持って、「カチッ」と音がするまで引出してください。  
引出しトレイは取外し可能です。引出しトレイ底面の奥側を押上げて引くと、取外することができます。



2. 心線ホルダに補強熱スリーブを手前から5つ収納し、心線は融着トレー内で余長を収納してください。

### 【ご注意】

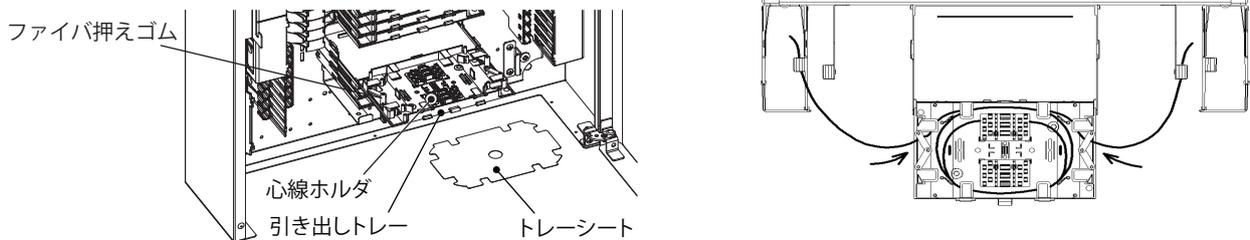
心線は上側の心線ホルダに接続する場合と、下側の心線ホルダに接続する場合で、融着トレー内で半周分長さが違います。余長は半周分変えてください。



3. 心線の入出線部はファイバ押えゴムで押え、余長部分は融着トレーシートで押え、引出しトレイを戻してください。

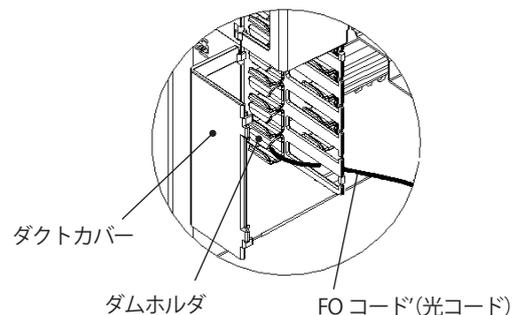
### 【ご注意】

心線は R30 以上の曲げ半径で収納してください。また、付属の補強熱スリーブはテープ心線専用です。単心線には使用しないでください。



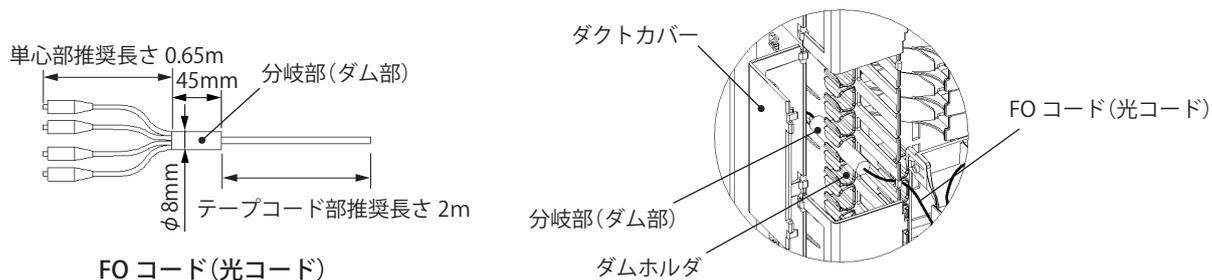
4. FO コード(光コード)は配線ダクトのダクトカバーを開き、配線ダクト内側のガイドから、ダムホルダを通してアダプタユニットに入れてください。

- ・融着ユニットあたり、4心テープ心線で20心(最大24心)、単心線で最大12心収納できます。
- ・単心線用補強熱スリーブは、光接続箱オプション「補強熱スリーブ【SPX3-60S】」をご利用ください。

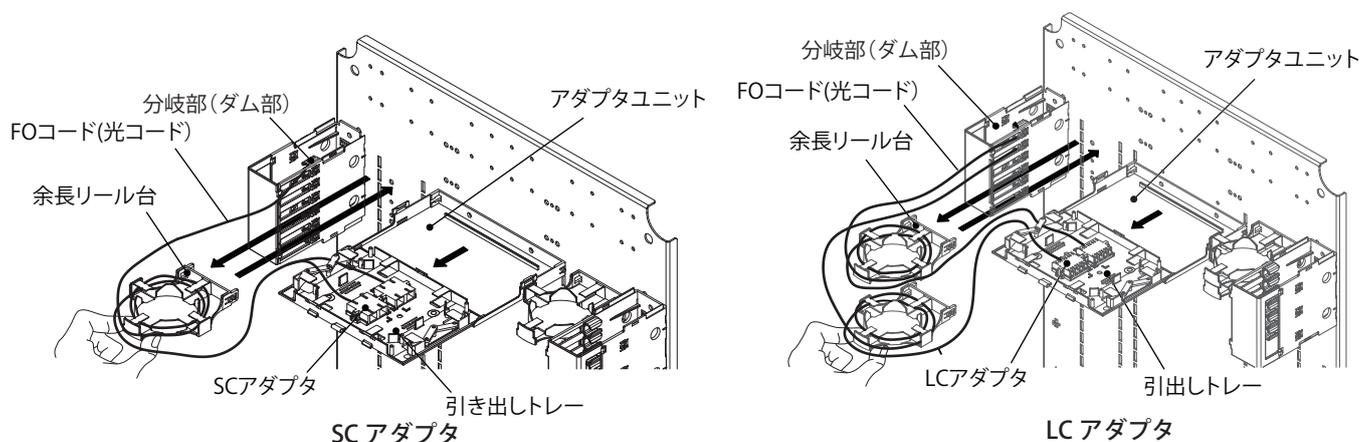


## ●アダプタユニット部

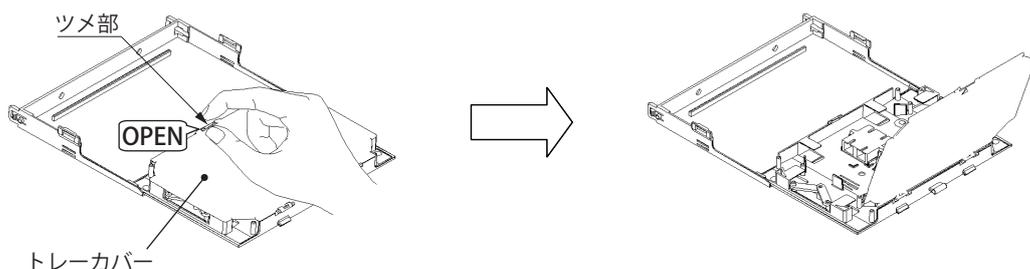
1. 配線ダクトのダクトカバーを開き、ダムホルダに FO コード(光コード)の分岐部(ダム部)を固定してください。コードは下配線ダクト内側のガイドを通した状態でカバーを開けてください。
  - ・ FO コード(光コード)の分岐部(ダム部)の曲げ半径を R30 以上にするため、分岐部(ダム部)の中央をダムホルダに付けてください。
  - ・ 分岐部(ダム部)のサイズは外径φ8mm、長さは 45mm 以下を使用してください。



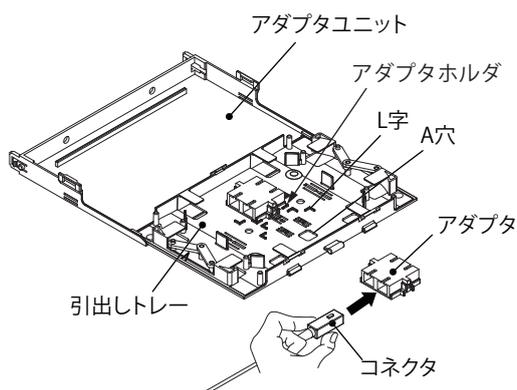
2. アダプタユニットの引出しトレイを「カチッ」と音がするまで引出してください。余長リール台は、手前の下部を持って取外し、光コードの余長を収納して元に戻してください。(「カチッ」と音がします)(LC アダプタ組替時はアダプタユニット両側および 1 段上の余長リール台で光コードの余長をとってください)ダム部の光コードの曲げ半径が R30 以上になるよう、光コードは余長リール台手前部の外側を通して収納してください。  
**【ご注意】** 余長リール台取付け時に、光コードを挟まないように十分注意してください。光ファイバ断線の原因になります。



3. アダプタユニット最上段は、引出しトレイを引出してトレーカバーを開いてください。(LC アダプタ組替時はカバーはありません)「OPEN」と印字してあるところのツメ部を押えながら上に開きます。

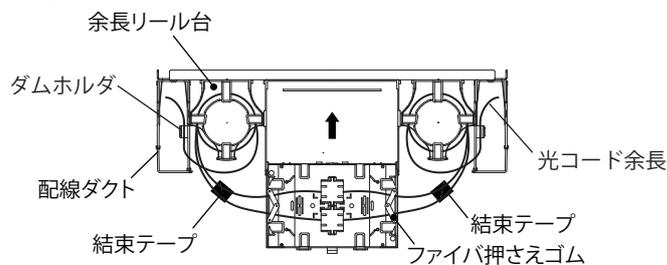


- ・ アダプタホルダは取外しができます。トレイを引出し、A 穴の下側からアダプタホルダを押上げて取外します。取付けの際は、トレイの L 字の位置決めに角を合わせてから上から押えて、「カチッ」と音がするまではめ込みます。
- ・ コネクタを接続してください。



4. アダプタ接続後、光コードは余長をとり配線ダクトのダムホルダに通してください。

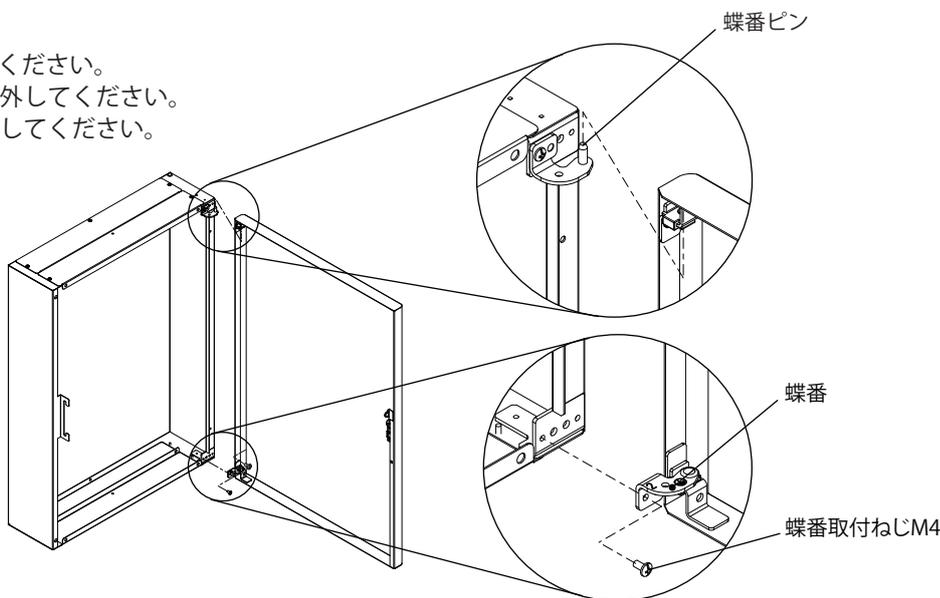
- ・光コードの入出線部をファイバ押えゴムで押えてください。
- ・必要に応じて光コードは結束テープでまとめてください。
- ・引出しトレイを「カチッ」と音がするまで戻してください。



## ■使用方法

### ●ドアの着脱方法

1. 下側の蝶番取付ねじ M4 を取外してください。
2. ドアを持上げて上側の蝶番ピンから外してください。
3. ドアを取付ける際は逆の手順で作業してください。



### ⚠ 注意



取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。  
ねじの締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。  
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

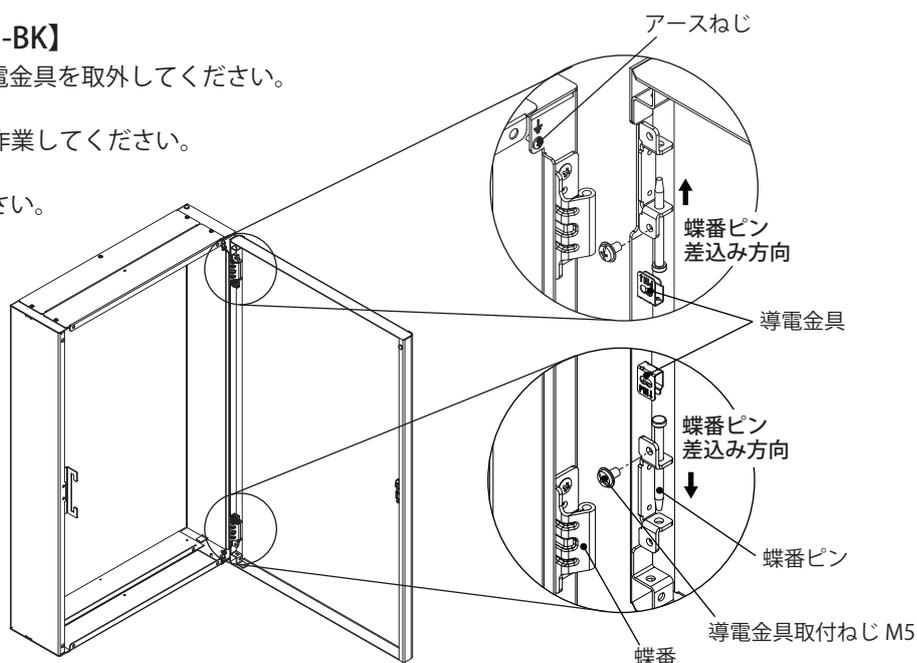
ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M4	1.5 ~ 2.0

### 【組替仕様 キャビネットの変更 -BK】

1. 導電金具取付ねじ M5 を外し、導電金具を取外してください。
2. 蝶番ピンを取外してください。
3. ドアを取付ける際は、逆の手順で作業してください。

#### ご注意

導電金具の取付方向に注意してください。



### ⚠ 注意

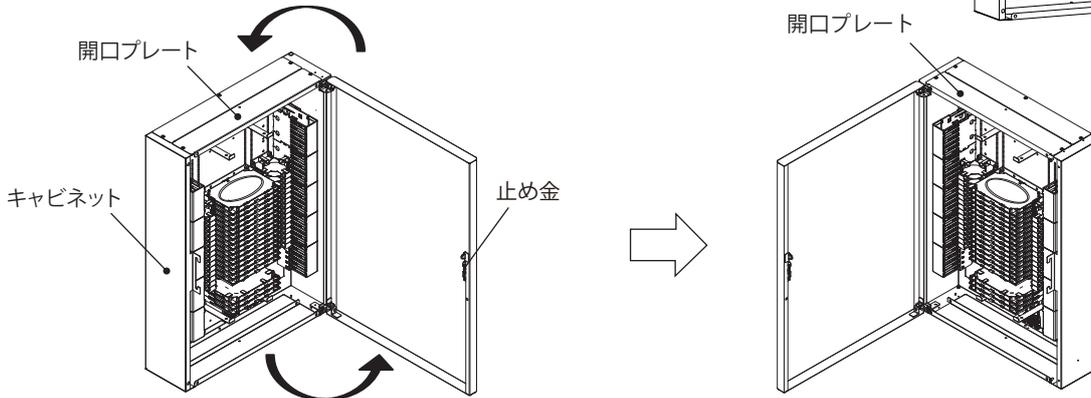
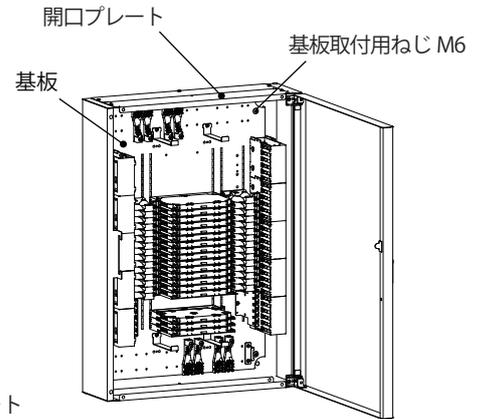


取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。  
ねじの締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。  
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.5 ~ 3.0

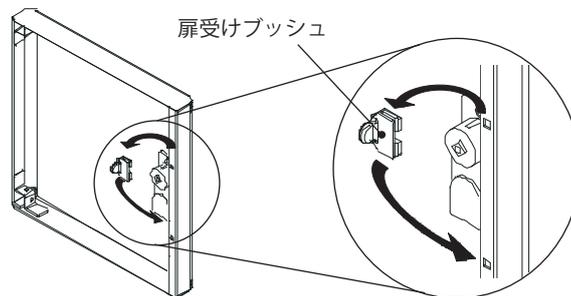
## ● ドア開閉方向の変更

1. 基板取付用ねじ M6 を外して、基板を取外してください。
2. キャビネットを上下反転させてください。
3. 開口プレートが付替えてください。
4. ハンドルおよび止め金を取外してください。
5. ハンドルの回転方向を変更してください。  
(「● ハンドルの回転方向の変更」を参照)
6. 基板を基板取付用ねじ M6 を使用し、キャビネットに取付けてください。



7. 扉受けブッシュを付替えてください。

**ご注意** 組替仕様 キャビネットの変更 -BKは、扉受けブッシュを使用していません。



## ⚠ 注意

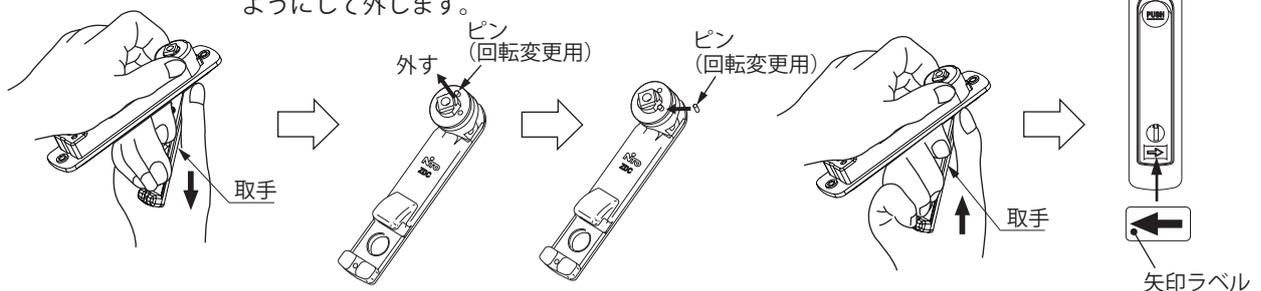


取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。  
ねじの締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。  
また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M6	1.5 ~ 2.0

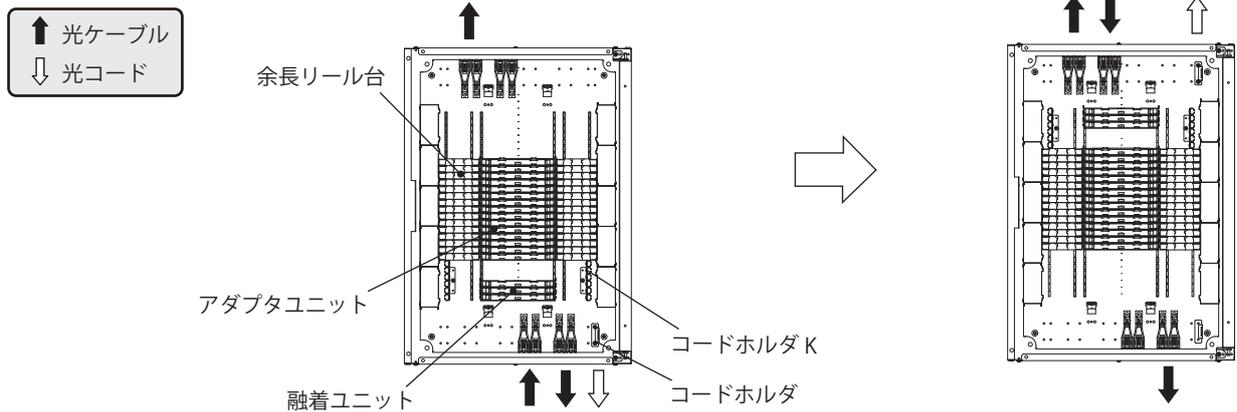
## ● ハンドルの回転方向の変更

1. 図のような姿勢で取手を下に引抜きます。
2. 図の位置にピンが挿入されています。これを下向きにしてピンをなくさないようにして外します。
3. 図の穴位置にピンを挿入します。
4. 図のような姿勢で取手を本体に確実に組込みます。
5. 矢印ラベルを重ね貼りします。

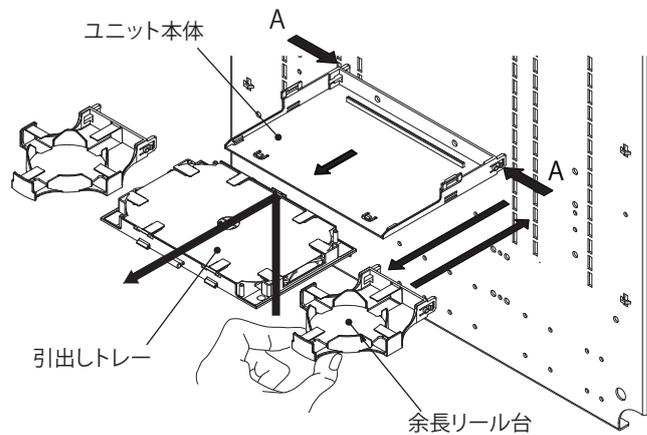


## ●入出線方向の変更

- 入出線を上側に変更するには融着ユニットとアダプタユニットの取付け位置を上下 6 段入替えてください。

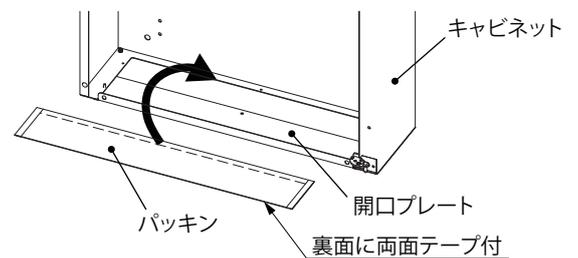


- ユニット本体の入替は、ユニット本体両側にある A 部を押えながら取外してください。
- コードホルダ K、余長リール台を入替えてください。余長リール台は手前部の下側を持ち、取外してください。
- コードホルダを出線方向に取付けてください。
- 融着ユニット、アダプタユニットは引出しトレイのみ入替えてください。  
(引出したトレイの底面の奥の方を押上げて引出してください。)



## ●ケーブルパッキン(付属品)の貼付方法

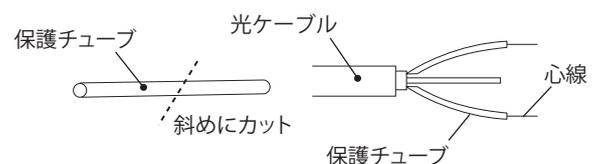
- ケーブルパッキンの貼付面の汚れ、湿気などを除去してください。
- ボデーの底面にケーブルパッキンの下側が接するように入出線側のボデーに貼付けてください。



## ●保護チューブの使用方法

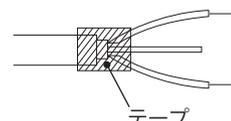
### 【保護チューブの挿入】

- 保護チューブの先端を斜めに切断してください。
- 保護チューブを心線に挿入してください。



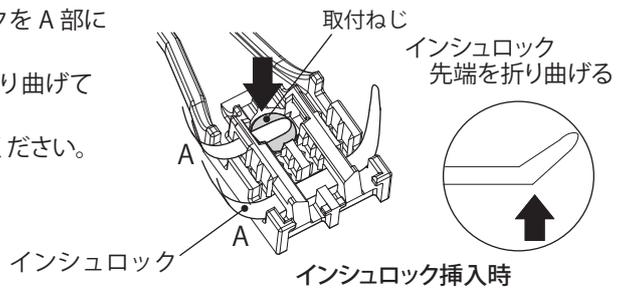
### 【保護チューブのテーピング】

保護チューブの抜け防止として、チューブとシース剥ぎ取り端部をテーピングしてください。

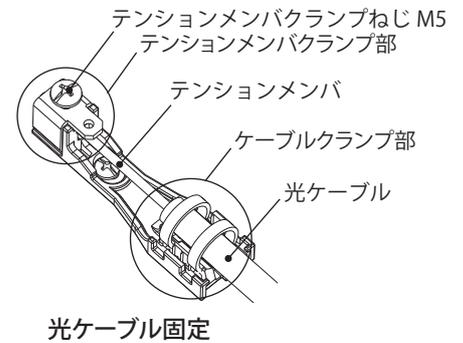


## ●ケーブルクランプの使用法

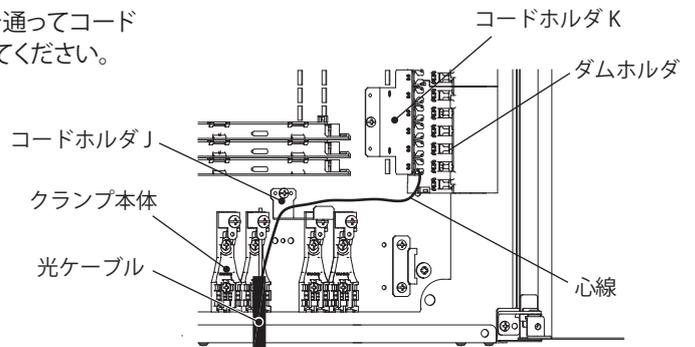
1. 光ケーブル外被をケーブルクランプ部にのせる前に、インシュロックを A 部に挿入してください。
  - ・インシュロックを A 部に挿入する際、インシュロックの先端を折り曲げてください。
  - ・インシュロックを取付ねじ上部に通す際、指で押えながら挿入してください。



2. 光ケーブルのテンションメンバをテンションメンバクランプねじ M5 にて固定してください。テンションメンバ径は  $\phi 4\text{mm}$  まで、光ケーブル径は  $\phi 21\text{mm}$  まで把持できます。



3. 心線(保護チューブ付)は、必要があればコードホルダ J の上を通ってコードホルダ K のダムホルダに奥から手前へ通し融着ユニットへ入れてください。



### ⚠ 注意



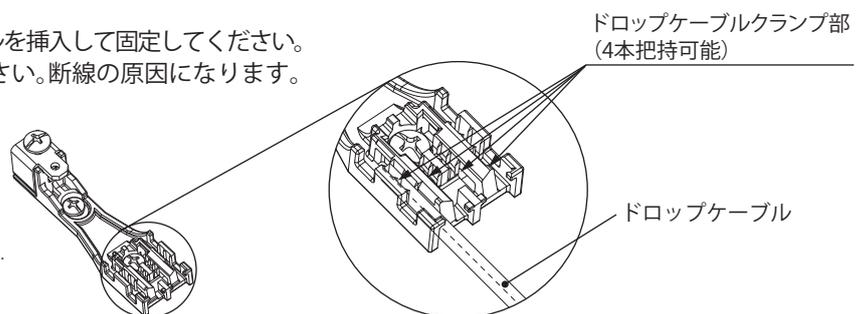
取付けに際して、ねじを適正締付トルクにて締付けてください。ねじの締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.5 ~ 3.0

## ●ドロップケーブル使用の場合

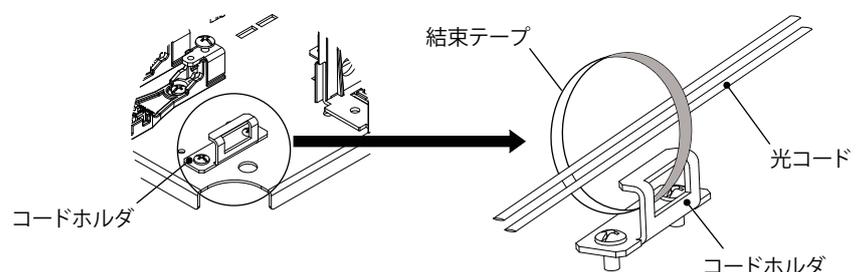
ドロップケーブルクランプ部にドロップケーブルを挿入して固定してください。

**ご注意** 光ファイバの挟込みに注意してください。断線の原因になります。



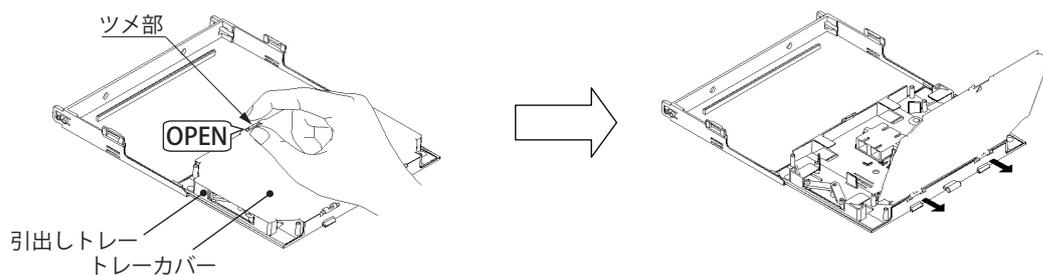
## ●コードホルダの使用法

付属の結束テープをコードホルダに挿入し、光コードを固定してください。

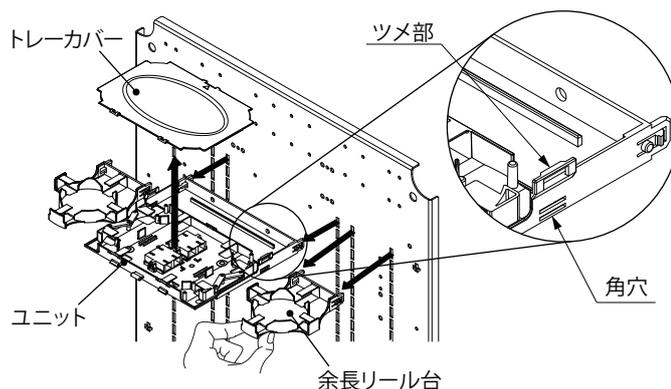


## ●増設方法

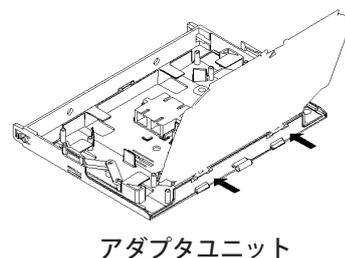
1. 引出しトレイを引出してトレーカバーを外してください。(LCアダプタ組替時はトレーカバーはありません)  
「OPEN」と印字してあるところのツメ部を押えながら上に開き、矢印の方向に取外します。



2. 融着ユニット、アダプタユニットをアルミベースの取付穴に「カチッ」と音がするまで差込んでください。  
同時にユニット側面の角穴に下段のツメ部を「カチッ」と音がするまではめ込み、上下のユニットを連結させてください。  
余長リール台は手前部下の方を持って、同様に「カチッ」と音がするまで差込みます。



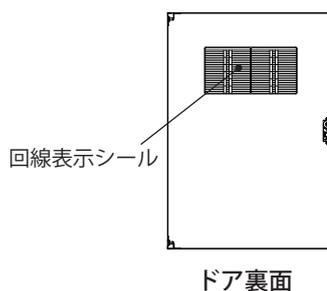
3. 最上段のアダプタユニットにトレーカバーを取付けてください。  
矢印の方向に「カチッ」と音がするまではめ込みます。  
トレーカバーを閉じてからユニットを取付けます。



## ●シール(付属品)の貼付例

### 【回線表示シール】

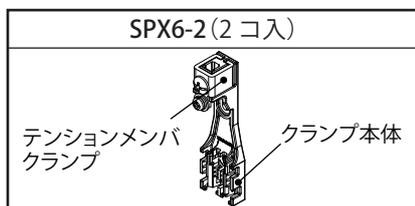
ドア裏面に回線表示シールを貼付けてください。



## ■光接続箱オプション

### ●ケーブルクランプの増設

ケーブルクランプを増設する場合は、SPX6-2(2コ入)をご利用ください。増設個数については下記表を参照してください。



品名記号	増設可能クランプ数
SPJ-SA60-SC-K2-4T	8コ
SPJ-SA100-SC-K2-4T	〃

MEMO

MEMO

施工業者名

TEL

施工年月日 年 月 日

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。  
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。  
この説明書の内容は 2015 年 1 月現在のものです。

B880321921